◎国土交通省告示第五百四十三号

賃 債 務 部 を 改 正 する告示 を次 \mathcal{O} ょ うに定 め る。

令和七年七月十八日

国土交通大臣 中野 洋昌

家 賃 債 務 保 証 業 者 登 録 規 程 \mathcal{O} ___ 部 を 改 正 す る 告 示

家 賃 債 務 保 証 業 者 登 録 規 程 平 成 二 + 九 年 玉 土 交 通 省 告示 第 八百 九十八 号) 0 部 を 次 \mathcal{O} ように 改

正する。

正 る 対 て 後 次 象 掲 欄 \mathcal{O} 規 表 げ に 定 る 掲 に を そ げ ょ り、 改 \mathcal{O} る 標 正 規 後 記 定 改 欄 部 正 \mathcal{O} 傍 分 に 前 に二 掲 線 欄 げ を に 付 る 重 掲 対 傍 げ L 象 線 又 る 規 を 規 は 定 付 破 定 と L 線 \mathcal{O} L た で 傍 7 規 井 線 定 移 を W だ 付 動 以 部 L 下 分 又 \mathcal{O} は 改 正 対 ょ 破 後 象 う 線 規 欄 に で 定 に 井 改 撂 め、 ん لح げ だ る 7 部 改 う。 対 正 分 象 をこ 前 規 欄 定 は 及 れ で び に 改 改 改 順 正 正 正 次 前 対 前 後 欄 欄 欄 応 に す に に 掲 対 る れ 応 改 げ

に

対

応

す

る

ŧ

 \mathcal{O}

を

掲

げ

て

1

な

1

ŧ

 \mathcal{O}

は

これ

を

加

え

る

第十一条 がないよう、 務の平穏を害するような言動をし、 (契約締結前の書面の交付及び説明) 業務処理の原則 家賃債務保証業者は、 適正にその業務を行わなければならない。 改 賃借人その他の者の私生活若しくは業 正 又はその権利利益を侵害すること 後 第十一条 ることがないよう、 (業務処理の原則 、契約締結前の書面の交付及び説明 家賃債務保証業者は、 適正にその業務を行わなければならない。 改 賃借人その他の者の権利利益を侵 正 前

害

第十七条 説明しなければならない。 録した電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によって る者に対し、次に掲げる事項を記載した書面を交付し、又はこれを記 には、当該保証委託契約を締結するまでに、その相手方となろうとす による情報処理の用に供されるものをいう。以下同じ。)を提供して は認識することができない方式で作られる記録であって、 家賃債務保証業者は、保証委託契約を締結しようとする場合 電子計算機

一 <u>~</u> 五. 保証委託料 (略)

七~十 以下同じ。) (略) (保証委託契約を更新する場合における料金を含む。

保証委託契約に関する相談又は苦情に応ずる者の氏名及び

2 • 3 略

先又は部署の名称及び連絡先

、契約締結時の書面の交付

第十八条 事項を変更した場合においても、 はこれを記録した電磁的記録を提供しなければならない。 の相手方に、遅滞なく、 家賃債務保証業者は、保証委託契約を締結した場合には、 次に掲げる事項を記載した書面を交付し、又 同様とする 次に掲げる そ

(略

> 第十七条 説明しなければならない。 による情報処理の用に供されるものをいう。以下同じ。)を提供して は認識することができない方式で作られる記録であって、 録した電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によって る者に対し、次に掲げる事項を記載した書面を交付し、又はこれを記 には、当該保証委託契約を締結するまでに、その相手方となろうとす 家賃債務保証業者は、保証委託契約を締結しようとする場合 電子計算機

一 5 五. (略)

次条第七号において同じ。 保証委託料 (保証委託契約を更新する場合における料金を含む。

七~十 (略)

連絡

(新設)

2 •

略

(契約締結時の書面の交付

第十八条 の相手方に、遅滞なく、次に掲げる事項を記載した書面を交付し、 は電磁的記録に記載した事項を変更したときも、 はこれを記録した電磁的記録を提供しなければならない。 家賃債務保証業者は、保証委託契約を締結した場合には、 同様とする。 当該書面 又そ 又

(略)

保証委託契約に関する相談又は苦情に応ずる者の氏名及び連絡

先又は部署の名称及び連絡先

(求償権の行使時の書面の交付等)

第十九条 記載し、又は記録しなければならない。 れに代わる電磁的記録を提供するときは、これらに次に掲げる事項を 等」という。)に対し、支払を催告するために書面を交付し、 家賃債務保証業者は、賃借人又はその保証人(以下「賃借人 又はこ

部署の名称 当該書面を交付し、 若しくは電磁的記録を提供する者の氏名又は

三 · 四 (略)

Ŧī. 又は部署の名称及び連絡先 求償権の行使に関する相談又は苦情に応ずる者の氏名及び連絡先

2 はこれを記録した電磁的記録を提供しなければならない。 があったときは、 家賃債務保証業者は、 前項各号に掲げる事項を記載した書面を交付し、 求償権を行使するに当たり、賃借人等の請 又 求

3 賃借人等以外の者である場合にあっては、 求償権に基づく債権の回収を行う者の氏名又は部署の名称 あったときは、 る事項を除く。 家賃債務保証業者は、 第一項各号 を、 その相手方に明らかにしなければならない。 求償権を行使するに当たり、 (第二号を除く。 同項第三号及び第四号に掲収しては部署の名称(相手方が)に掲げる事項及び当該 相手方の請求が

、求償権の譲渡の規制等)

第二十三条 (略)

2 する場合において、 の委託(以下この項において「求償権譲渡等」という。)をしようと 若しくは債権回収制限者であると疑うに足りる相当な理由があると 示この項において「債権回収制限者」という。)であることを知りる場合において、その相手方が次の各号のいずれかに該当する者(家賃債務保証業者は、求償権の譲渡又は求償権に基づく債権の回 収

(新設)

(求償権の行使時の書面の交付等)

第十九条 項を記載し、 はこれに代わる電磁的記録を送付するときは、これらに次に掲げる事 おいて「賃借人等」という。)に対し、支払を催告するために書 家賃債務保証業者は、賃借人又はその保証人 又は記録しなければならない。 (第二 + | | | 又 条に

当該書面若しくは電磁的記録を送付する者の氏名又は部署の名称

三 • 四 略

(新設)

(新設)

2 に当たり、 を、 前項に定めるもののほか、 その相手方に明らかにしなければならない。 名称又は氏名及び当該求償権に基づく債権の回収を行う者の氏名 相手方の請求があったときは、 家賃債務保証業者は、 当該家賃債務保証業者の商 求償権を行使する

、求償権の譲渡の規制等

第二十三条 (略)

2 する場合において、 以下この項において「債権回収制限者」という。) であることを知り の委託(以下この項において「求償権譲渡等」という。)をしようと 若しくは債権回収制限者であると疑うに足りる相当な理由があると 家賃債務保証業者は、求償権の譲渡又は求償権に基づく債権の その相手方が次の各号のいずれかに該当する者 口

はならない。 に足りる相当な理由があると認めるときは、 権について求償権譲渡等を受けることを知り、 認めるとき、又は当該求償権譲渡等の後、債権回収制限者が当該求償 当該求償権譲渡等をして 若しくは受けると疑う

(略)

兀 それが明らかである者(前号に掲げる者を除く。) 務の平穏を害するような言動をし、又はその権利利益を侵害するお 求償権に基づく債権の回収に当たり、相手方の私生活若しくは業

第二十七条 ができる。 の適正な運営を確保するため、必要な指導、助言及び勧告をすること に該当する場合においては、当該家賃債務保証業者に対し、その業務 国土交通大臣は、家賃債務保証業者が次の各号のいずれか

から第二十四条までの規定に違反したとき。 第七条第一 項又は第二項、 第十条から第十二条まで及び第十四条

2

別記様式第三号 (第四条第二項第六号から第八号まで関係

に足りる相当な理由があると認めるときは、 権について求償権譲渡等を受けることを知り、 認めるとき、又は当該求償権譲渡等の後、 債権回収制限者が当該求償 当該求償権譲渡等をして 若しくは受けると疑う

はならない。 (略)

(新設)

第二十七条 国土交通大臣は、家賃債務保証業者が次の各号のいずれ に該当する場合においては、当該家賃債務保証業者に対し、その業務二十七条 国土交通大臣は、家賃債務保証業者が次の各号のいずれか の適正な運営を確保するため、必要な指導、 助言及び勧告をすること

に違反したとき。 第十条から第十二条まで及び第十四条から第二十四条までの規定 ができる。

二 匹 (略)

2

別記様式第三号 (第四条第二項第六号から第八号まで関係

別記様式第九号 \sim (翠 (4) 美閣裏の報告が対策を担ぐ関する事品 金子はどかりを発展を終りてからが、中心の発展が多く発生のも思す。 整備の場合を表現していまいては、 の場合の場合に対している様式では関係できた。 最近の場合で、 然で、CE で AX 本品等で、 AX 工程 関手をひ 10 未発送している。 第四の素質のアロリを用り換点と指することであるしている。 英語を行うのから表現しても他のなが行うの間をからから他のも様々、自動 を表現した表現機をでは他が存することを持ちてはつか。 「関連のお話しのできる日本のからなるのではなり、実施では多している。」 第四人の表現の確認の管理・実施の中の他のはなったか、その研究的は 行うする・他の意味を受けない数を表現するいとを軽されました。 MATTER AND AND ASSESSMENT OF THE PROPERTY OF T 前の方式を指摘されておりの利用を担当されてはあるのなが、有効的ななも 直接しないことを提供している。 1000000 けっかをお手の見り近にものできたことをと言うなりまたまなのだけのことをは、大学部のはは100円のできたのでは、大学部のは100円のできた。 双眼的 化代表电话 医维奇氏试验 化代数图 人名西西奇 化的 计计算器 经外分割 医神经外的 医克勒奇氏征 医克勒奇氏征 医克勒奇氏征 医克勒勒氏征 医克勒勒氏征 医二甲基苯酚 四個是至今轉動技術 ω (器) | 181 ×4 × × × 中の間の前間を含むれた代替の向いた (第二十五条関係) (悪) PARTICIPATION OF ĕ (器) 別記様式第九号 (第二十五条関係) \sim (瑟 (3) 大田高田中の早しを見げするため、 12 美国国际海南部市海边部门 3 1 2 2 をうしては、日本のでは、日本のでは、日本のでは、これでは、これであった。 これでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、これでは、これでは、日本のでは、 第四日から連絡する支援の登録を出ることをからかず、開始を持ち 提出したくことを発生している。 のでの母素や雑な様のはも同じせない。 のでの母素や雑な様のはも同じせない。 のでは、 必要は行われたもののには、1回からでははなるようか、1回十十回で、1回2 位置はようを指揮を2回には、10つでは、10つ 「関係事業の単し、141 下ることのシアルトの単元を出る中ではなりませる。 でのムヤ中間をしている。 製造的2000ではアボタの創設のから製造を指す。 東京で専門にはちえるで 上を集ましてでき。 の選挙、中部を取り付かってお客がなる場合が担ち、関係を作用をしてくるのというできませるべつからからは対策をなるの表のが表す。第四人は ω 力を被認力を確認を (器) ě 海田田田の田田田大 ĕ (器)

行 附 期 則

施 $\stackrel{\textstyle |}{\longrightarrow}$

1

ک の告示は、 令 和 七年十二 , 月 一 日 か 5 施 行する。

経 過 措 置)

2 \mathcal{O} 告 示 \bigcirc 施 行 前 にされ た家賃 債務 保 証業者 登 绿 規 程 第 兀 条第一 項 \mathcal{O} 登 録 \mathcal{O} 申 請 で あ って、この

処分に つ **,** \ --は、 な お 従 前 \mathcal{O} 例 に ょ る。 告示

 \mathcal{O}

施

行

 \mathcal{O}

際、

国土交通

大

臣

による登

録

をす

る

か

どう

カ

 \mathcal{O}

処

分が

な

さ

れ

てい

な

1

£

 \mathcal{O}

に

つ

7 て

 \mathcal{O}

繕 0 て 使 用することができる。 3

この

告

示

0

施

行

 \mathcal{O}

際

現に

あるこの告示による改正前の様式による用紙

は、

当分の

間、

これ

を取

り

- 7 -